

# 保全指導による、官庁建物の長寿命化とエネルギー削減(節電)の推進！！

～「平成24年度保全業務支援システム(BIMMS-N)操作説明会」の開催～

静岡営繕事務所

## ◇開催概要

静岡営繕事務所では平成24年6月8日(金)にBIMMS-Nを使用した保全実態調査を行うにあたり、今年度初めて入力する方、入力方法を再度確認したい方等を対象に、保全実態調査の概要説明、基本的な操作、BIMMS-Nで出来る保全実態調査以外の機能の紹介、操作演習を静岡国道事務所2階大会議室にて開催いたしました。あわせてBIMMS-Nを活用した節電対策についても説明を行いました。(参加者:中部地方整備局6事務所を含む9官署17名)

## ◇説明内容

1. 保全実態調査の進め方(保全実態調査のスケジュール等について)
2. 保全実態調査の入力・報告(システム(BIMMS-N保全業務支援システム)を利用した保全実態調査、法定点検整理票検索演習(操作))
3. 簡易中長期保全計画(簡易中長期保全計画機能(操作)、簡易中長期保全計画作成演習(操作))
4. BIMMS-Nについて(保全実態調査以外の機能の紹介等)
5. BIMMS-Nを活用した節電対策について



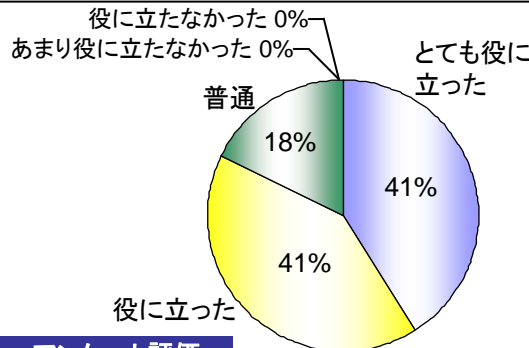
事務所長挨拶



受講状況



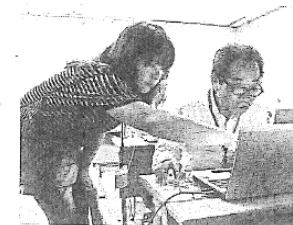
職員によるサポート



アンケート評価

国土交通省静岡営繕事務所は8日、静岡市内で「保全業務支援システム(BIMMS-N)操作説明会」を開いた。官庁施設管理を行う実務担当者など約20人が受講した。写真。

北原浩行所長は「静岡県内で行う初の説明会となる。保全業務支援システムを建物の長寿命化、節電、省エネなどに役立ててほしい」と呼び掛けた。



説明会ではシステムを利用した保全実態調査、簡易中長期保全計画、庁舎の節電対策などについて解説した。受講者はパ

静岡営繕  
**保全業務支援システム  
 操作説明会を20人受講**

パソコンを操作しながら同システムの運用方法を学んだ。

建通新聞

平成24年(2012)6月20日(水)7面

# 三次元バーチャル空間により、関係者の合意形成をスピーディーに

～「BIM(ビルディング・インフォメーション・モデリング)による「静岡地方法務局藤枝出張所」の設計説明～

平成24年6月22日

静岡営繕事務所

中部地方整備局営繕部および静岡営繕事務所では、BIM(ビルディング・インフォメーション・モデリング)を、導入した場合の効果・課題についての整理・検証を目的に試行しています。

設計段階においては、BIMにより3次元データによる建物情報モデルを構築することで、設計内容の可視化に対する透明性や説明性が高まり、関係者間における意志決定が早くなるなどのメリットが期待できます。

今回は、平成26年6月22日(金)に静岡法務総合庁舎の会議室において、静岡地方法務局(3名)をはじめ、法務本省(2名)からも出席頂き、「静岡地方法務局藤枝出張所」の「基本設計」について、BIMによる三次元バーチャルモデルを活用して画面上でのウォークスルーによる設計プランの説明を行いました。

法務局の担当者からは、「図面ではなく、三次元の画像により、建物のイメージをつかむ事ができた。」との感想をいただいています。

今後は、施工段階でも、施設内サインの検討・確認、各種納まりの確認等に、BIMの活用を検討していく予定です。



那花広報戦略官によるBIMの説明



新聞社による報道(建設通信新聞)



説明会の開催風景



三次元バーチャルモデル(BIM)を活用した説明画像

